

令和3年度

学校要覧

『笑顔あふれる学校』を
目指して



校歌

作詞 大木 惇夫
作曲 乗松 昭博
編曲 市川 都志春

一 不二が嶺の み雪は淨し

きよしや わが学び舎

誠をぞ つらぬくものに あこがれはあり

知恵をくみ 研めあひ

靑空のかがよひに こたへばや

二 小金井の さくらはうらら

うららや わがふるさと

苦しみを 耐え得るものに さいはひはあり

睦みあひ 扶けあひ

夕星のやさしみに こたへばや

三 武蔵野の 若葉のみどり

みどりや わが友どち

責めを負い 働くものに よろこびはあり

励みあひ わかちあひ

そよ風のやすらひに こたへばや



小金井市立小金井第一中学校

〒184-0005 東京都小金井市桜町2-3-15 <http://www.koganei.ed.jp/~koganijs/>
電話 042-383-1161 FAX 042-382-0401 I組 042-385-7005 G組 042-383-1213



学校教育目標

現在を見つめ、未来を創造する心身ともに健康で民主的な人間を育成するように努める。

○すすんで学び考える人になろう・・(知) ○広く思いやる人になろう・・(徳) ○自ら鍛える人になろう・・(体)

【目指す学校の姿】

- 一人一人の学びを保障する学校
- 好ましい人格形成を目指す学校
- 安全に生活を送ることができる学校
- 体力向上の推進と保健教育・食育の充実を目指す学校
- 教職員が能力を十分に発揮する学校
- 学校が地域に開かれ、家庭・地域と共にある信頼される学校

【目指す学校の姿】

- 主体的に、学び続ける生徒
- 自他の生命を尊重し、偏見と差別のない好ましい人間関係を築く生徒
- 社会のルールを身に付け、規律を守ることができる生徒
- 自他の危険予測をし、危険回避ができる生徒
- 健康の保持増進と体力の向上に努める生徒
- 諸活動に意欲的に取り組み、目標に向かって頑張れる生徒

【目指す教師の姿】

- 情熱があり、教育者として使命感が高い教師
- 思いやりがあり人間性豊かな教師
- 生徒の良さを伸ばし、自信を付けさせることができる教師
- 組織人として機能し、周囲から信頼される教師

特別支援学級

I組 (自閉症・情緒障害) の教育目標

- ア 学習・生活上の困難を主体的に改善し、社会生活に適応できる力を育成する。
- イ 自らの特性を知り、自立した社会参加を実現するための生きる力を育成する。
- ウ 基礎的・基本的な知識や技能を習得し、課題を主体的に解決していく力を育成する。

学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- ア 生徒個々の障害の特性に応じ、指導目標や具体的指導内容を明確にした個別指導計画を作成し、生徒・教員・保護者の共通理解のもと指導を進める。
- イ 生徒個々のニーズを把握した「学校生活支援シート」(個別の支援計画)を作成し、家庭・地域及び専門機関(大学、医療、福祉)等と連携して、一貫した教育支援を行う。
- ウ 生徒の障害の状態や特性に応じた個別指導計画を重視し、計画的に集団活動の体験を積ませる。必要に応じて、指導形態や集団の構成に配慮した学習環境を整え、通常学級との交流活動の場を設定し、通常学級との連携を進める。

G組 (知的障害) の教育目標

- ア 豊かな生活を送るために必要な基本的生活習慣を身に付け、社会に適応できる力を育成する。
- イ 生徒個々の特性に合った自立と社会参加を実現するための生きる力を育成する。
- ウ 健康で豊かな生活を送るために必要な知識、技能、体力を主体的に学ぼうとする姿勢を育成する。

学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- ア 生徒個々の障害の状態・学習状況や経験・生活の様子・生活年齢等を考慮して教育的ニーズを的確に捉え、指導目標や具体的指導内容を明確にした個別指導計画を作成し、生徒・教員・保護者の共通理解の下指導の充実を図る。
- イ 生徒個々の障害の状態に即した個別的教育支援計画を活用し、地域・医療・専門機関等と連携して、合理的配慮に基づいた一貫した教育支援を行う。
- ウ 望ましい社会参加を目指し、生活に直結した場面設定や題材、具体的・体験的な学習活動を充実させ、日常生活や社会生活に必要な技能や習慣を身に付けさせる。
- エ 生徒個々の特性に合った将来の就労を実現するため、キャリア教育を系統的・計画的に行い、就労に必要な基本的生活習慣の確立とコミュニケーション能力の充実や向上を目指す。

学校の沿革

年	月	日	概要	年	月	日	概要	
昭和22	4	1	六三制の新学制で小金井町立小金井中学校として設立	昭和55	8	25	木造校舎改築工事完了	
26	1	26	校歌制定	60	3	25	体育館改築工事完了	
	5	13	校友会を廃し、生徒会とする	62	8	31	北校舎改修完了	
29	4	1	小金井町立小金井第一中学校と校名変更(小金井第二中学校の設立により)	平成	元	1	18	コンピュータ室完成
31	11	18	学校プール落成(10周年記念事業)	5	3	23	プール改修工事完了	
32	5	31	木造西校舎落成式	9	11	11	創立50周年記念式典	
33	4	22	東校舎落成	15	3	20	一中ホームページ開設	
	10	1	小金井市制施行	19	8	31	北校舎耐震補強工事完了	
			小金井市立小金井第一中学校と校名変更		11	9	創立60周年記念式典	
35	3	30	講堂兼体育館完成(木造)	20	4	1	特別支援学級(情緒障害通級指導)設置	
36	3	31	鉄筋3階校舎落成(6教室)	21	2	3	平成19・20年度小金井市研究奨励校研究発表会	
	6	30	講堂兼体育館(鉄筋)落成	25	4	1	特別支援学級	
38	9	2	鉄筋3階校舎完成(15教室)				(情緒固定I組、知的固定G組)設置	
39	3	19	校旗披露式(校旗、校門、中庭の庭園寄贈)	29	11	2	創立70周年記念式典	
43	9	28	体育館改修工事完了	令和	2	3	2	新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校(3月2日~3月23日、4月8日~5月31日)
49	9	30	給食開始	3	4	1	小金井市教育委員会授業改善推進校に指定	



運動会



入学式



生徒総会



部活動説明会



離任式



移動教室（2年）



職場体験（2年）



校外学習（G組）



卒業式

【基本方針】

「笑顔あふれる学校」を目指して

1 組織的な学校運営

- ★専門性を発揮し、学校組織全体がチームとして力を発揮し生徒に必要な力を身に付けさせる。
- ★新学習指導要領での確実な指導を行い、適正な評価・評定を実施する。
「知識・技能」「思考・判断・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」
- ★「考え、議論する道徳の授業」を通して、授業内容の評価等を検証する。

3 生徒指導の充実

- ★生徒の気になる様子等については、保護者に連絡するとともに、校外で関係機関と連携・協力する。
- ★不登校生徒等については、校内で予防・対応を行い、SC・SSWと積極的な連携を図る。
- ★失敗から学ばせ、結果だけでなく取り組んだ過程を適切に評価する。
- ★SNS によるトラブル、薬物乱用防止など最新の状況を踏まえた指導を実施する。

2 質の高い教育の創造

- ★生徒に身に付けさせたい力を明確にして意図的・計画的な教育活動を実践し、積極的にICT(クラウドブック)を活用する。
- ★学力向上に向け「わかる・できる・活かす」授業の追求と工夫した授業実践。
- ★人権教育の推進を徹底。いじめを許さない環境づくりという視点で取り組む。
- ★体験する機会を大切にし、豊かな人間性や価値観の形成及び課題発見や課題発見能力の育成を図り、キャリア教育（キャリアパスポート）を推進する。
- ★組織的な支援体制と特別支援教育の充実。I組・G組・コスモス教室との相互理解を図る。

4 信頼を高める取組

- ★いじめ・不登校問題には迅速かつ組織的に対応する。また、アレルギー事故を起こさない体制を構築する。
- ★体罰や不適切な指導など信頼を損なわない取り組みを推進する。
- ★HPや学校だよりなどで情報を発信し安心感と信頼感の獲得に努める。
- ★学校の新しい生活様式（新型コロナウイルス対策）に取り組む。



ふじがね祭



修学旅行

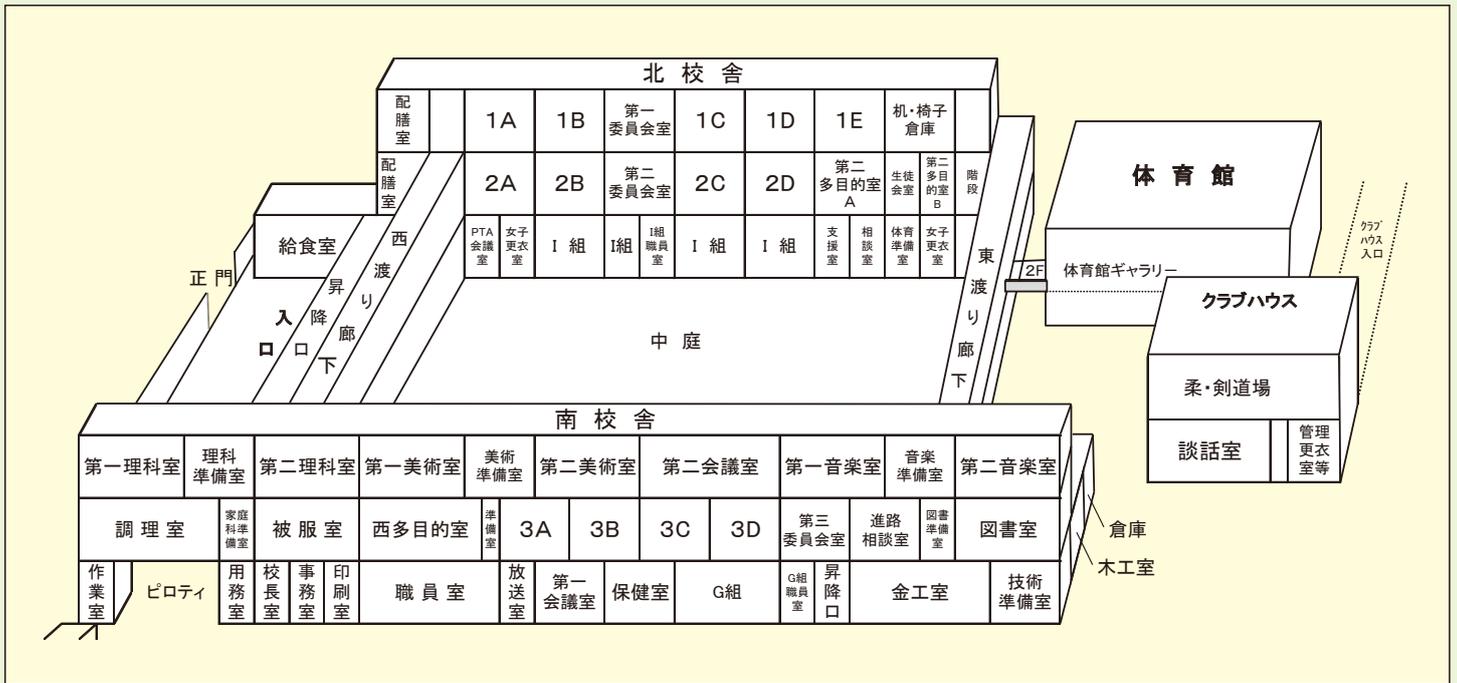


ボランティア活動

月	1学期				2学期					3学期		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事	始業式 入学式 身体測定 保護者会 校外学習（I組） 校外学習（G組） 離任式 PTA総会 部活動保護者会 開校記念日 合唱鑑賞教室 中間考査 宿泊学習（G組） 生徒総会 教育実習 運動会 学校公開	道徳授業地区公開講座 期末考査 〔球技大会（G組）〕 読書週間 進路説明会 保護者会 大掃除 終業式 小中学校防災の日 三者面談 補充学習教室	始業式 修学旅行（3年） 移動教室（2年） 給食試食会 校外学習（1年） 生徒会役員選挙 セーフティ教室	中間考査 〔マラソン大会（G組）〕 進路説明会 学校公開 ふじがね祭 三者面談（3年） 校外学習（I組） 期末考査 読書週間 三者面談 新入生保護者説明会 大掃除 終業式	始業式 学校公開 （薬物乱用防止教室） 連合作品展 職場体験（2年） 学年末考査 〔劇と音楽の会（G組）〕 生徒会新入生説明会 小金井教育の日 読書週間 卒業式 修了式 校外学習（I組） 保護者会（1・2年）							

時 程 表		
予 学 授	鈴 活 業 準 備	8:25 ~ 8:40
1		8:40 ~ 8:50
2		8:50 ~ 9:40
3		9:50 ~ 10:40
4		10:50 ~ 11:40
	(給食予鈴)	11:50 ~ 12:40
給 食		12:50
昼 休 み		12:40 ~ 13:10
5		13:10 ~ 13:30
6		13:35 ~ 14:25
終 学 活		14:35 ~ 15:25
清 掃		15:25 ~ 15:35
一 般 下 校		15:35 ~ 15:55
		⑤ 14:55 ⑥ 15:55

教室配置図



交通経路

○JR 中央線

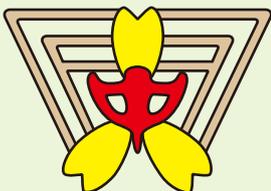
「武蔵小金井駅」北口下車

- ・徒歩 15 分 (約 1.5 km)
- ・京王バス (中大循環)
「北町交番」下車 徒歩 3 分 (約 0.3 km)
- ・西武バス (清瀬駅、東久留米駅、滝山営業所、小平駅行等)
「桜町病院」下車 徒歩 5 分 (約 0.5 km)

○西武新宿線

「花小金井駅」下車 西武バス (武蔵小金井駅) 「桜町病院」下車 徒歩 5 分 (約 0.5 km)

校章由来



小金井第一中学校は、昭和 22 年六三制の学制改革に伴い発足した学校です。小金井堤と桜花を郷土とし、日本の伝統を継承しつつ、永遠に平和を追求する学校であるという自負心を強調したのがこの徽章の基盤です。

1. 徽章の▽形から、青空を飛翔せんとする平和のシンボル鳩の決意の程を象徴するもので、「黄色と白色」の対照効果はこの意味を一層強調するものです。
2. 黄色の花弁と二本の▽形の銀線は小金井堤の桜であり、郷土を強調し「中」の字の内側の「朱色」は神武以来の伝統を表します。

作者が最も力を注いだものは、中学生らしくある (新時代感覚の中に) ということと、品位の高さということでした。